

小林市学校施設長寿命化計画

令和3年3月
小林市教育委員会

目次

1	学校施設の長寿命化計画の趣旨	
1-1	背景	1
1-2	目的	1
1-3	計画期間	1
1-4	対象施設	2
2	学校施設の目指すべき姿	3
3	学校施設の実態	
3-1	対象施設一覧	4
3-2	小林市内学校施設の配置状況	5
3-3	児童生徒数の推移	6
3-4	投資的経費の推移	7
3-5	学校施設の保有状況	8
3-6	今後の維持・更新コスト（従来型）	9
4	学校施設の老朽化状況の実態	
4-1	劣化度の評価基準	10
4-2	健全度の算定方法	11
4-3	劣化度状況調査結果	12
4-4	学校施設の現状と課題	14
4-5	今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	15
4-6	長寿命化計画の維持更新コストの見通しと課題	16
5	学校施設整備の基本的な方針等	
5-1	学校施設整備の基本的な考え方	17
5-2	学校施設長寿命化計画の基本方針	18
5-3	長寿命化・改築周期の方針	19
5-4	学校個別基本方針	20
5-5	学校整備を行うまでのイメージ	21
6	改修等の基本的な方針	
6-1	長寿命化改修の周期	22
7	長寿命化計画の実施計画	
7-1	改修等の優先順位付けと実施計画	23
8	長寿命化計画の継続的運用方針	
8-1	施設情報の管理	24
8-2	推進体制の整備	24
8-3	フォローアップ	25
8-4	財源の確保	25
	参考資料	26

1 学校施設の長寿命化計画の趣旨

1-1 背景

小林市（以下、「本市」という。）の学校施設は、昭和45年から昭和60年代の急激な人口増加に伴う児童生徒数の増加にあわせて整備された学校施設が学校全体の約51%を占めており老朽化が進んでいます。

また、公立幼稚園、小・中学校では近年の少子化や経済状況の変化などの影響から学校の小規模化が進み、平成22年度と令和2年度の児童生徒数の合計を比較すると約700名減少しており、児童生徒数の減少傾向が今後も続くことが予想されます。

前述の学校施設については、今後、大規模改修や建て替えに多額の費用が必要と考えられており、これらの適正な維持管理や少子化を考慮した学校施設の在り方についての検討が今後の課題になっています。

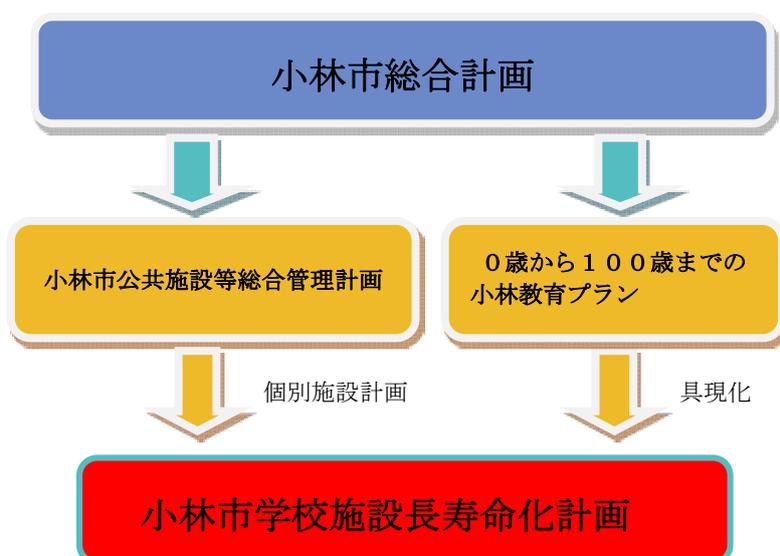
1-2 目的

小林市学校施設長寿命化計画（以下、「本計画」という。）は、上記の背景を踏まえて学校施設の在り方について多方面から検討し、安全・安心な施設環境の確保や教育環境の質的向上を図るために施設の長寿命化についての方針を掲げることを目的として策定します。

また、本計画は、小林市公共施設等総合管理計画（平成28年3月策定）に基づく学校施設の個別施設計画として位置づけます。

なお、本計画の対象外施設についても、学校施設の維持管理に関する方針は本計画に準ずるものとします。

図表1-1 計画の位置づけ



1-3 計画期間

計画期間は令和3年度から令和42年度までの40年間とします。

また、本計画については、10年ごとに見直します。ただし、社会情勢の変化や関連する計画の改定など本計画に影響が生じる場合には、その都度必要に応じて見直しを行います。

1-4 対象施設

本市が保有する学校施設のうち、延べ床面積で200㎡以上の建物を対象建物として位置づけます。

なお、対象建物数は、校舎、体育館に加え、附属施設であるプールも計画の対象としています。

本計画における学校施設と対象建物数は、以下のとおりです。

図表1-2 学校施設数

学校施設	
幼稚園	1
小学校	12
中学校	9
合計	22

図表1-3 対象建物数

施設名	対象建物数
野尻幼稚園	1
小林小学校	7
南小学校	5
細野小学校	6
西小林小学校	4
東方小学校	6
永久津小学校	3
三松小学校	6
幸ヶ丘小学校	3
須木小学校	4
野尻小学校	5
栗須小学校	5
紙屋小学校	5
小林中学校	7
細野中学校	6
西小林中学校	5
永久津中学校	3
東方中学校	4
三松中学校	8
須木中学校	5
野尻中学校	6
紙屋中学校	5
合計	109

2 学校施設の目指すべき姿

図表 2-1 学校施設の目指すべき姿

<p>1 安全性</p> <p>○ 災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地震に強い学校施設 ・ 洪水に強い学校施設 ・ 防災機能を備えた学校施設 <p>○ 防犯対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全で安心な学校施設 <p>2 快適性</p> <p>○ 快適な学習環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習能率の向上に資する最適な学習環境 ・ 児童生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着を持つことができる学校 ・ バリアフリーに配慮した環境 ・ 子供たちや保護者等が訪れやすい空間 <p>○ 教職員に配慮した環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員に配慮した空間 ・ 教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要な ICT 環境 <p>3 学習活動への適応性</p> <p>○ 主体性を養う空間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・ 子供たちの教科等に対する興味・関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間 ・ 社会性を身に付けるための空間 <p>○ 効果的・効率的な施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 習熟度別指導や少人数指導などのきめ細かい個に応じた指導を行うための空間 ・ 調べ学習や習熟度別学習、チームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間 ・ 各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境 ・ 各教科等の授業を充実させるための環境 <p>○ 言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間 ・ 子供たちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・ 各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境 	<p>3 学習活動の適応性（続き）</p> <p>○ 言語活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各教科等の授業を充実させるための環境 <p>○ 理数教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 充実した観察・実験を行うための環境 <p>○ 運動環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 充実した運動ができる環境 <p>○ 伝統や文化に関する教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統や文化に関する教育を行うための環境 <p>○ 外国語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語活動におけるジェスチャーゲームなどの体を動かす活動や、ペアやグループでの活動など、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間 <p>○ 学校図書館の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちの自発的な学習や読書活動を促すための環境 ・ 調べ学習や習熟度別学習、チームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間 ・ 各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための ICT 環境 ・ 地域に開かれた学校とするための環境 ・ 地域の生涯学習の拠点となる学校施設 <p>○ キャリア教育・進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 充実したキャリア教育・進路指導を行うための環境 <p>○ 食育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食育のための空間 <p>○ 特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自閉症、情緒障害又は ADHD 等のある児童生徒に配慮した学校施設 <p>○ 環境教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域環境問題への関心を高めるためのエコスクール <p>4. 環境への適応性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境を考慮した学校施設（エコスクール） <p>5. 地域の拠点化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全で安心な学校施設 ・ バリアフリーに配慮した環境 ・ 地域に開かれた学校とするための環境 ・ 地域の生涯学習の拠点となる学校施設
---	---

資料:「学校施設整備基本構想の在り方について」

(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議平成 25 年 3 月)

3 学校施設の実態

3-1 対象施設一覧

本市には、公立幼稚園1校、小学校12校、中学校9校、計22校の学校施設があります。幼稚園全体の延床面積は424㎡、小学校全体の延床面積は45,348㎡、中学校全体の延床面積は36,711㎡となり、幼稚園と小・中学校合わせた延床面積は82,483㎡になります。幼稚園の1校当たりの延床面積は424㎡、小学校の1校当たり延床面積は、幸ヶ丘小学校1,419㎡から小林小学校7,868㎡までとなっています。また、中学校の1校当たり延床面積は、紙屋中学校2,425㎡から小林中学校7,071㎡までとなっています。

図表 3-1 対象施設一覧

施設名	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	児童 生徒数(人)		学級数 (学級)	
					通常学 級在籍 者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援
1 野尻幼稚園	野尻町東麓 22	424.0	平成 5	27 年	13		2	
幼稚園計		424.0			13		2	
1 小林小学校	細野 184 番地 1	7,868.0	昭和 53	42 年	528	18	18	3
2 南小学校	細野 1265 番地	5,099.0	平成 26	6 年	300	6	12	2
3 細野小学校	細野 3921 番地	4,952.0	昭和 53	42 年	256	10	11	2
4 西小林小学校	南西方 6068 番地 1	3,671.0	昭和 46	49 年	151	5	6	2
5 東方小学校	東方 3216 番地	3,103.0	昭和 45	50 年	83	5	6	2
6 永久津小学校	北西方 4440 番地 8	2,625.0	平成 6	26 年	65	1	6	1
7 三松小学校	堤 3519 番地	3,798.0	昭和 47	48 年	436	11	15	2
8 幸ヶ丘小学校	南西方 7772 番地	1,419.0	昭和 47	48 年	13	0	3	0
9 須木小学校	須木下田 1397 番地 2	2,310.0	昭和 42	53 年	41	3	4	2
10 野尻小学校	野尻町東麓 25 番地	3,748.0	昭和 52	43 年	133	1	6	1
11 栗須小学校	野尻町三ヶ野山 4136 番地 1	3,545.0	昭和 54	41 年	143	3	6	2
12 紙屋小学校	野尻町紙屋 1766 番地 1	3,210.0	昭和 53	42 年	62	0	6	0
小学校計		45,348.0			2,211	63	99	19
1 小林中学校	細野 565 番地 1	7,071.0	昭和 47	48 年	425	12	12	3
2 細野中学校	細野 4374 番地	3,336.0	昭和 46	49 年	133	1	6	1
3 西小林中学校	南西方 6149 番地	3,632.0	昭和 36	59 年	72	8	3	2
4 永久津中学校	北西方 4578 番地	3,180.0	平成 12	20 年	34	0	3	0
5 東方中学校	東方 3094 番地 2	3,756.0	平成 10	22 年	49	1	3	1
6 三松中学校	堤 2331 番地 3	5,401.0	昭和 55	40 年	207	2	6	1
7 須木中学校	須木中原 1730 番地	3,129.0	昭和 37	58 年	26	0	3	0
8 野尻中学校	野尻町東麓 2570 番地 4	4,781.0	昭和 50	45 年	142	6	6	2
9 紙屋中学校	野尻町紙屋 1754 番地	2,425.0	昭和 51	44 年	24	1	3	1
中学校計		36,711.0			1,112	31	45	11
幼・小・中学校合計		82,483.0			3,336	94	146	30

※建築年度は、教室棟、特別教室棟で最も古い建物の建築年を採用（資料：施設台帳）

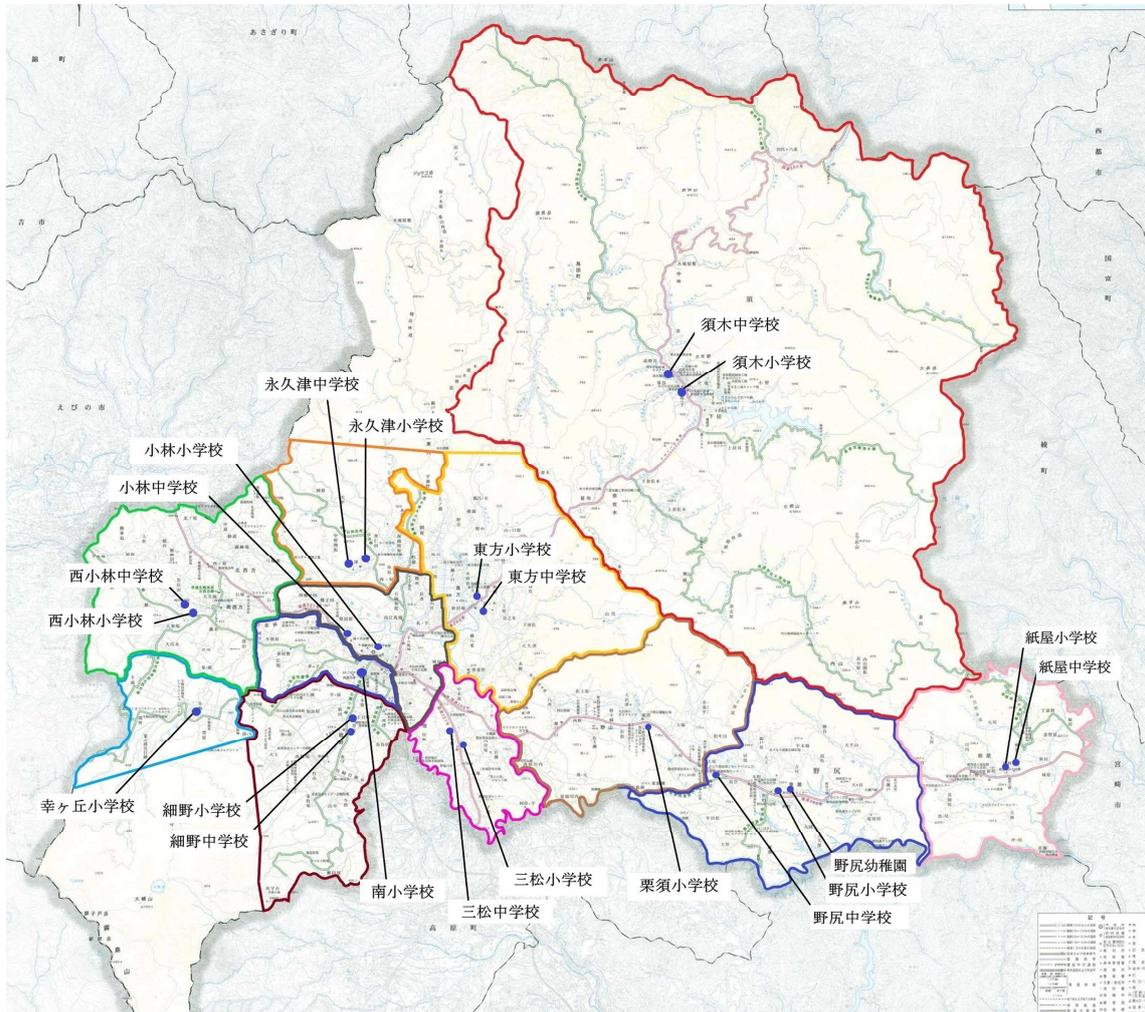
※経過年数は2021年3月末時点の年数

※児童生徒数、学級数は2020年5月1日時点の児童数、学級数

※延床面積にはプールの面積を含む。

3-2 小林市内学校施設の配置状況

図表 3-2 学校施設配置図

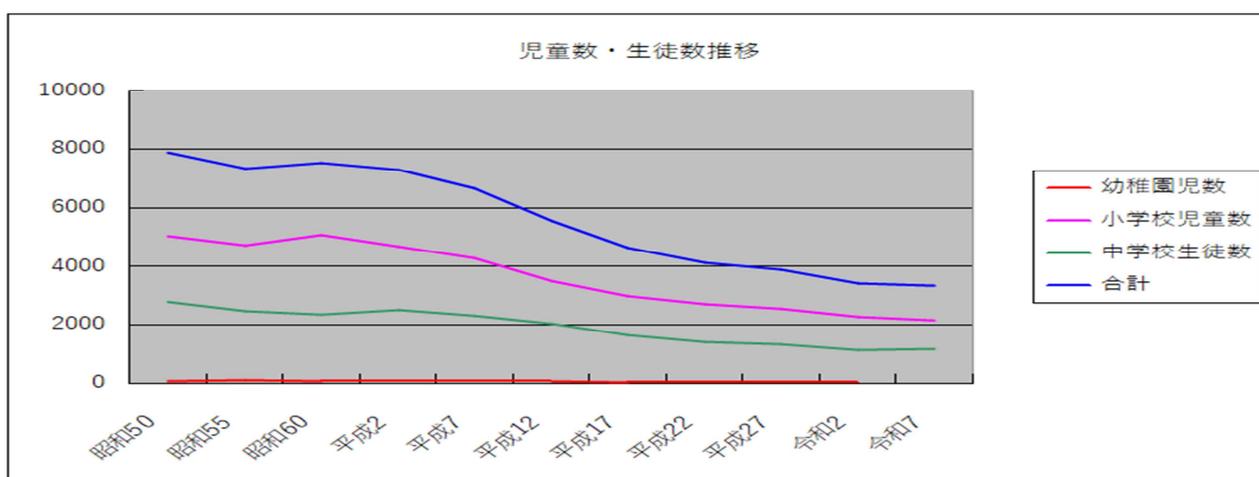


3-3 児童生徒数の推移

図表3-3 児童生徒数推移

	児童生徒数推移一覧										見込
	昭和50	昭和55	昭和60	平成2	平成7	平成12	平成17	平成22	平成27	令和2	令和7
園児数	80	120	79	71	62	51	41	28	31	13	—
児童数	5,031	4,730	5,093	4,701	4,268	3,479	2,970	2,699	2,548	2,274	2,147
生徒数	2,773	2,461	2,342	2,528	2,315	2,034	1,627	1,400	1,326	1,143	1,177
合計	7,884	7,311	7,514	7,300	6,645	5,564	4,638	4,127	3,905	3,430	3,324

図表3-4 児童生徒数推移グラフ



【幼稚園】

公立幼稚園の園児数は、令和2年5月1日現在13人です。
昭和50年の園児数は80人で、現在は当時の16.3%になっています。

【小学校】

公立小学校の児童数は、令和2年5月1日現在2,274人です。
昭和50年の児童数は5,031人で、現在は当時の45.2%になっています。

【中学校】

公立中学校の生徒数は、令和2年5月1日現在1,143人です。
昭和50年の生徒数は2,773人で、現在は当時の41.2%になっています。

【児童生徒数の変化】

市全体の児童生徒数は、令和2年5月1日現在3,417人です。
昭和50年の児童生徒数は7,804人で、現在は当時の43.8%となっています。
また、令和7年度の児童生徒数は3,324人の見込みであり、令和2年度より更に2.7%減少する見込みです。

3-4 投資的経費の推移

平成27年度から令和元年度までの5年間の学校教育施設の施設関連経費は、約1億7700万円から約7億700万円で、5年間の平均は約3億円となります。

図表3-5 施設関連経費の推移

(百万円)

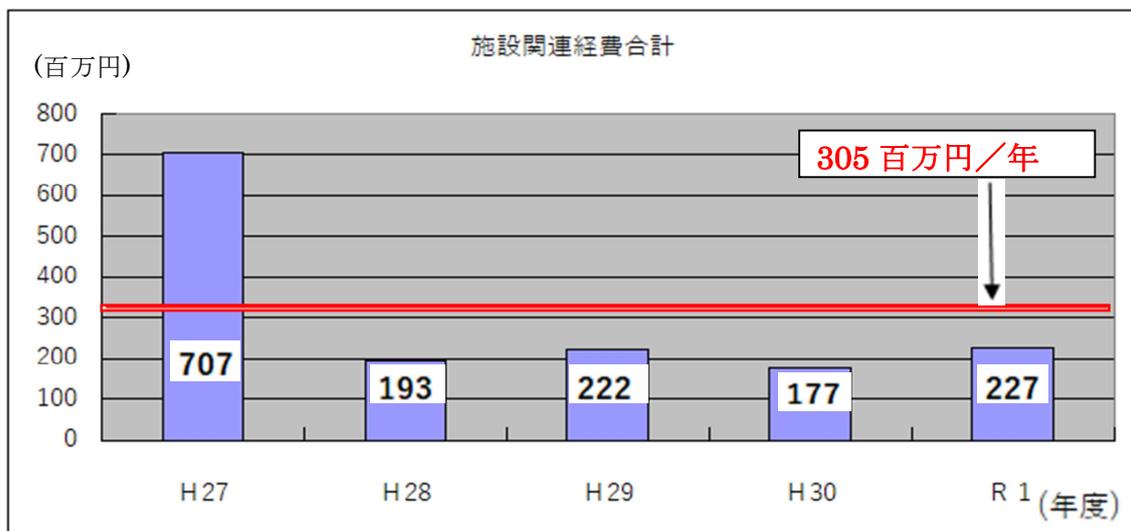
	H27	H28	H29	H30	R 1	5年平均
施設整備費（幼稚園分）	0	0	0	0	0	0
施設整備費（小学校分）	604	95	108	29	7	169
施設整備費（中学校分）	10	7	10	6	8	8
その他の施設整備費（幼稚園分）	0	0	0	0	0	0
その他の施設整備費（小学校分）	10	2	1	35	3	10
その他の施設整備費（中学校分）	4	6	2	4	116	26
維持修繕費	17	17	25	25	21	21
光熱水費・委託費	62	66	76	78	72	71
施設関連経費合計	707	193	222	177	227	305

*平成27, 28年度は南小学校改築工事費を含む

図表3-6 施設整備費内訳

施設整備費	校舎整備全般
その他施設整備費	プール、グラウンド等上記の施設整備に含まれない整備費
維持補修費	軽微な修繕費

図表3-7 施設関連経費合計グラフ

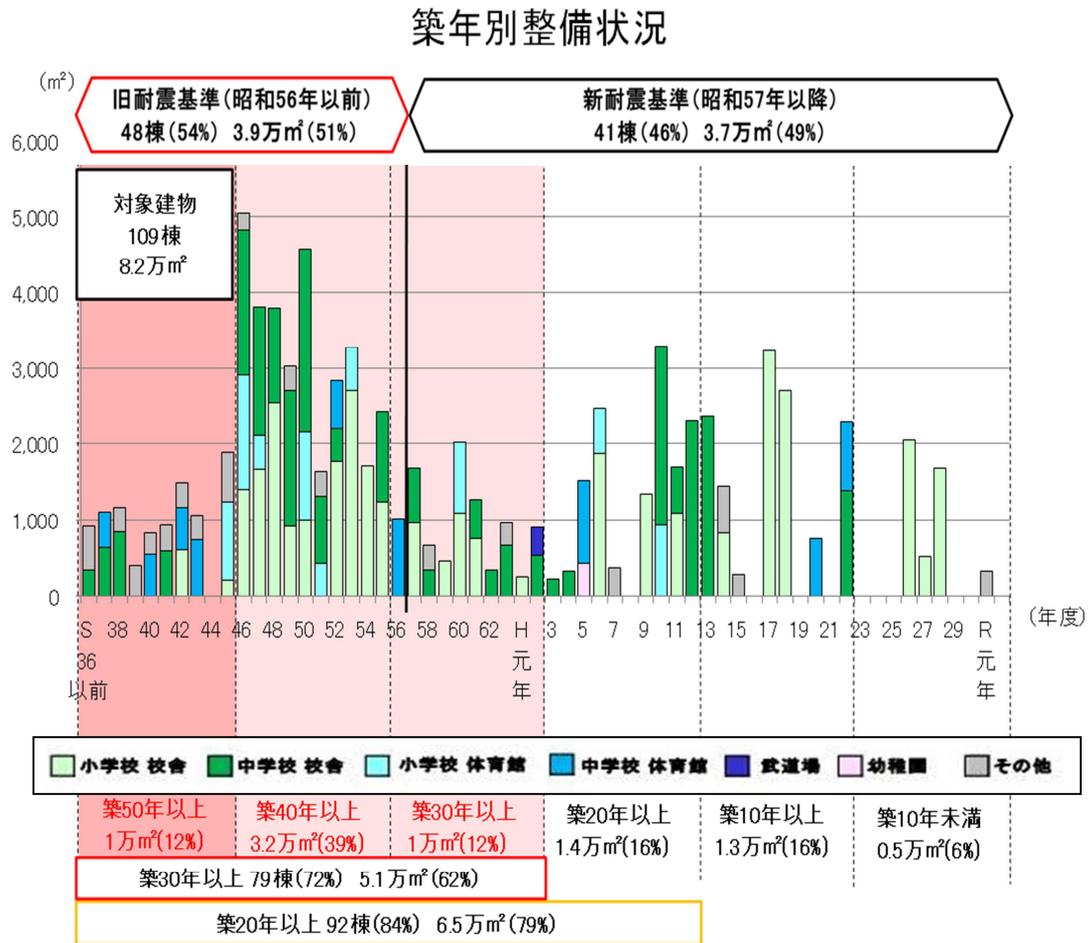


3-5 学校施設の保有状況

対象施設の床面積を建築年度別にみると、築30年以上40年未満が約12%、築40年以上50年未満が約39%、築50年以上が約12%と築年数が30年以上の建築物が全体の約62%に達しており老朽化が進んでいます。

また、旧耐震基準の建築物は全延床面積の約51%を占めますが、全て耐震補強済みです。なお、学校プール20施設については建築物でないため耐震基準の面積に含んでいません。

図表3-8 計画対象の築年別整備状況

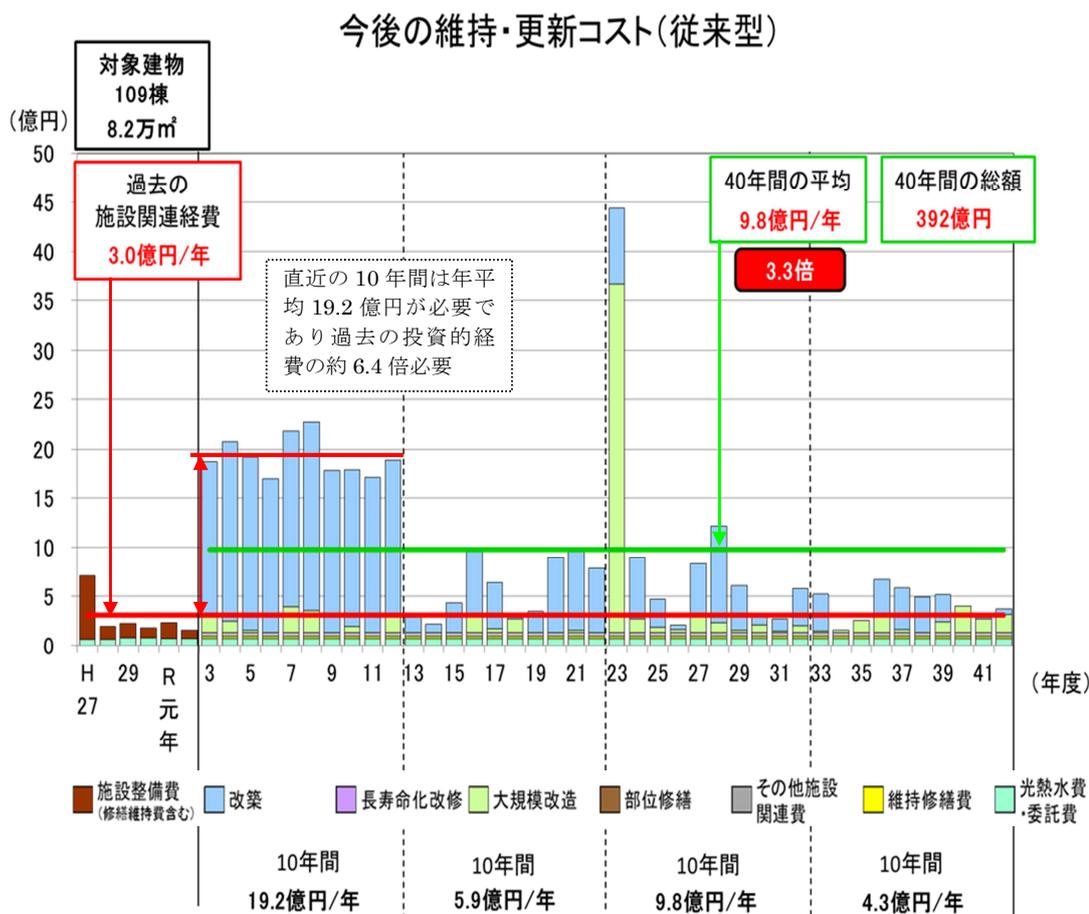


3-6 今後の維持・更新コスト（従来型）

文部科学省が示す40年間で建替える修繕・改修を行った場合、今後のコストは392億円（平均約9.8億円/年）必要となります。これは、直近5年間の投資的経費3億円を約3.3倍上回ります。

また、令和3年度から令和12年度までの10年間では、建て替えに対応する必要がある施設が集中するため、直近5年間の平均投資的経費の約6.4倍のコストがかかります。

図表3-9 今後の維持・更新コスト（従来型）



【コスト試算条件】

- ・ 基準年度:令和2年度
- ・ 試算期間:基準年度から40年間
- ・ 改築:更新周期40年
- ・ 改築単価 330,000円/㎡
- ・ 工事期間2年
- ・ 大規模改造:実施年数20年周期
- ・ 大規模改造単価 82,500円/㎡ (改築単価の25%)

4-2 健全度の算定方法

健全度の算定方法は文部科学省が発行している解説書に基づき、下記の方法で評価を行いました。

- 健全度は、各建物の5つの部材について劣化状況を4段階（A～D）で評価し、100点満点で数値化した評価指標になります。優先的に改修する建物の順位付けを行う際に参考値となります。
- 健全度40点未満であれば、優先的に長寿命化改修等の対策を講じることが望ましいとされます。
- 健全度の点数に関わらずC、D評価の部位は、修繕・改修が必要とされます。
- 「①部位の評価点」と「②部位のコスト配分」は、下図のように定め、「③健全度」を算定します。なお、「②部位のコスト配分」は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分したものを含んでいます。
 （「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書から抜粋」）

図表4-2 健全度の計算

①部位の評価点		②部位のコスト配分		③健全度																																														
	評価点	部位	コスト配分	総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷60																																														
A	100	1. 屋根・屋上	5.1	*100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っています。 *健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示しています。																																														
B	75	2. 外壁	17.2																																															
C	40	3. 内部仕上げ	22.4	算出例																																														
D	10	4. 電気設備	8.0																																															
		5. 機械設備	7.3																																															
		計	60.0	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>評価</th> <th>評点数</th> <th>配分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 屋根・屋上</td> <td>C</td> <td>40</td> <td>5.1</td> <td>= 204</td> </tr> <tr> <td>2. 外壁</td> <td>D</td> <td>10</td> <td>17.2</td> <td>= 174</td> </tr> <tr> <td>3. 内部仕上げ</td> <td>A</td> <td>100</td> <td>22.4</td> <td>= 2,240</td> </tr> <tr> <td>4. 電気設備</td> <td>C</td> <td>40</td> <td>8.0</td> <td>= 320</td> </tr> <tr> <td>5. 機械設備</td> <td>C</td> <td>40</td> <td>7.3</td> <td>= 292</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計</td> <td>3,228</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>÷60</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">健全度</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>		部位	評価	評点数	配分		1. 屋根・屋上	C	40	5.1	= 204	2. 外壁	D	10	17.2	= 174	3. 内部仕上げ	A	100	22.4	= 2,240	4. 電気設備	C	40	8.0	= 320	5. 機械設備	C	40	7.3	= 292	計				3,228					÷60	健全度				54
部位	評価	評点数	配分																																															
1. 屋根・屋上	C	40	5.1	= 204																																														
2. 外壁	D	10	17.2	= 174																																														
3. 内部仕上げ	A	100	22.4	= 2,240																																														
4. 電気設備	C	40	8.0	= 320																																														
5. 機械設備	C	40	7.3	= 292																																														
計				3,228																																														
				÷60																																														
健全度				54																																														
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>計</td> <td>3,228</td> </tr> <tr> <td></td> <td>÷60</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">健全度</td> <td>54</td> </tr> </table>		計	3,228		÷60	健全度	54																																							
計	3,228																																																	
	÷60																																																	
健全度	54																																																	

健全度の算出方法例

資料：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月文部科学省）

4-3 劣化度状況調査結果

図表4-3 劣化度調査結果と健全度 1/2

建物情報一覧表(公立幼稚園、小学校)

■: 概ね良好 ■: 広範囲に劣化
■: 築50年以上 ■: 築30年以上 基準 2020 ■: 部分的に劣化 ■: 早急に対応する必要がある

建物基本情報													劣化状況評価					
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
					学校種別	建物用途				西暦	和暦							
1	7118	野尻幼稚園	園舎	3-1.2.3	幼稚園	園舎	W	1	424	1993	H5	27						
2	1401	小林小学校	校舎	20	小学校	校舎	RC	2	447	1978	S53	42	C	C	B	B	B	62
3	1401	小林小学校	校舎	23	小学校	校舎	RC	2	1,967	2005	H17	15	A	B	A	A	A	93
4	1401	小林小学校	校舎	24	小学校	校舎	RC	2	1,269	2005	H17	15	A	B	A	A	A	93
5	1401	小林小学校	校舎	26	小学校	校舎	RC	2	1,260	2006	H18	14	A	B	A	A	A	93
6	1401	小林小学校	校舎	27	小学校	校舎	RC	2	1,450	2006	H18	14	A	B	A	A	A	93
7	1401	小林小学校	屋内運動場	19	小学校	体育館	S	1	1,164	1975	S50	45	C	C	A	C	C	62
8	1401	小林小学校	プール		小学校	その他			311	1960	S35	60						
9	1403	南小学校	校舎	10	小学校	校舎	RC	2	2,035	2014	H26	6	A	B	A	A	A	93
10	1403	南小学校	校舎	11	小学校	校舎	W	1	519	2015	H27	5	A	A	A	A	A	100
11	1403	南小学校	校舎	12	小学校	校舎	RC	2	1,670	2016	H28	4	A	A	A	A	A	100
12	1403	南小学校	屋内運動場	7	小学校	体育館	S	1	600	1970	S45	50	C	C	C	C	C	40
13	1403	南小学校	プール		小学校	その他			275	1955	S30	65						
14	1404	細野小学校	校舎	11	小学校	校舎	RC	2	1,345	1978	S53	42	B	D	C	C	C	34
15	1404	細野小学校	校舎	13	小学校	校舎	RC	2	884	1979	S54	41	C	C	B	B	B	62
16	1404	細野小学校	校舎	14-1.2	小学校	校舎	RC	2	1,232	1980	S55	40	B	D	B	B	B	56
17	1404	細野小学校	校舎	17	小学校	校舎	RC	2	247	1989	H元	31	B	C	B	B	B	65
18	1404	細野小学校	屋内運動場	16	小学校	体育館	S	1	919	1985	S60	35	B	C	B	B	B	65
19	1404	細野小学校	プール		小学校	その他			325	1963	S38	57						
20	1405	西小林小学校	校舎	13-1.2.3	小学校	校舎	RC	2	1,389	1971	S46	49	B	D	C	C	C	34
21	1405	西小林小学校	校舎	15-1.2.3.4.5	小学校	校舎	RC	2	1,357	1973	S48	47	B	D	C	C	C	34
22	1405	西小林小学校	屋内運動場	14	小学校	体育館	S	1	600	1971	S46	49	B	C	C	C	C	43
23	1405	西小林小学校	プール		小学校	その他			325	1976	S51	44						
24	1406	東方小学校	校舎	3	小学校	校舎	S	1	208	1970	S45	50	A	B	C	C	C	55
25	1406	東方小学校	校舎	14-1.2.3.4	小学校	校舎	RC	2	911	1974	S49	46	C	D	C	C	C	31
26	1406	東方小学校	校舎	16	小学校	校舎	RC	2	834	1977	S52	43	B	D	C	C	C	34
27	1406	東方小学校	校舎	17	小学校	校舎	RC	2	453	1984	S59	36	A	B	B	B	B	77
28	1406	東方小学校	屋内運動場	13	小学校	体育館	S	1	422	1971	S46	49	B	C	C	C	C	43
29	1406	東方小学校	プール		小学校	その他			275	1965	S40	55						
30	1408	永久津小学校	校舎	10-1.2	小学校	校舎	RC	2	1,863	1994	H6	26	A	C	B	B	B	67
31	1408	永久津小学校	屋内運動場	9-1.2	小学校	体育館	S	1	437	1972	S47	48	A	C	C	C	C	45
32	1408	永久津小学校	プール		小学校	その他			325	1967	S42	53						
33	1409	三松小学校	校舎	12-1.2	小学校	校舎	RC	2	1,144	1972	S47	48	B	D	C	C	C	34
34	1409	三松小学校	校舎	13-1.2.3	小学校	校舎	RC	2	1,182	1973	S48	47	C	C	C	C	C	40
35	1409	三松小学校	校舎	14	小学校	校舎	RC	2	333	1978	S53	42	C	D	C	C	C	31
36	1409	三松小学校	校舎	16-1.2	小学校	校舎	RC	2	392	1985	S60	35	B	B	B	B	B	75
37	1409	三松小学校	屋内運動場	10	小学校	体育館	S	1	422	1970	S45	50	C	D	C	C	C	31
38	1409	三松小学校	プール		小学校	その他			325	1966	S41	54						
39	1410	幸ヶ丘小学校	校舎	10	小学校	校舎	S	1	520	1972	S47	48	C	B	C	C	C	50
40	1410	幸ヶ丘小学校	校舎	12	小学校	校舎	RC	2	479	1982	S57	38	B	C	B	B	B	65
41	1410	幸ヶ丘小学校	屋内運動場	11	小学校	体育館	S	1	420	1976	S51	44	C	D	C	C	C	31
42	1438	須木小学校	校舎	4	小学校	校舎	RC	2	601	1967	S42	53	A	C	C	C	C	45
43	1438	須木小学校	校舎	18	小学校	校舎	RC	2	1,000	1975	S50	45	C	D	C	C	C	31
44	1438	須木小学校	屋内運動場	12	小学校	体育館	S	1	499	1971	S46	49	B	C	C	C	C	43
45	1438	須木小学校	プール		小学校	その他			210	1971	S46	49						
46	1431	野尻小学校	校舎	18	小学校	校舎	RC	2	935	1977	S52	43	D	D	C	C	C	29
47	1431	野尻小学校	校舎	25	小学校	校舎	RC	3	755	1986	S61	34	A	A	B	B	B	84
48	1431	野尻小学校	校舎	32	小学校	校舎	W	1	825	2002	H14	18	A	B	A	A	A	93
49	1431	野尻小学校	屋内運動場	28	小学校	体育館	RC	1	925	1998	H10	22	B	B	B	B	B	75
50	1431	野尻小学校	プール		小学校	その他			308	2002	H14	18						
51	1432	栗須小学校	校舎	19	小学校	校舎	RC	2	818	1979	S54	41	A	D	B	B	B	59
52	1432	栗須小学校	校舎	22.23.24	小学校	校舎	RC	2	475	1982	S57	38	B	D	B	B	B	56
53	1432	栗須小学校	校舎	35	小学校	校舎	RC	2	1,339	1997	H9	23	A	D	B	B	B	59
54	1432	栗須小学校	屋内運動場	30	小学校	体育館	RC	1	605	1994	H6	26	A	B	B	B	B	77
55	1432	栗須小学校	プール		小学校	その他			308	2002	H14	18						
56	1433	紙屋小学校	校舎	16	小学校	校舎	RC	2	582	1978	S53	42	D	C	C	C	C	37
57	1433	紙屋小学校	校舎	19-1.2	小学校	校舎	RC	2	702	1985	S60	35	A	B	B	B	B	77
58	1433	紙屋小学校	校舎	23	小学校	校舎	RC	2	1,086	1999	H11	21	B	D	A	A	A	72
59	1433	紙屋小学校	屋内運動場	17	小学校	体育館	RC	1	565	1978	S53	42	C	D	C	B	B	40
60	1433	紙屋小学校	プール		小学校	その他			275	2003	H15	17						

建物情報一覧表(中学校)

A:概ね良好 C:広範囲に劣化

2020 B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

建物基本情報													劣化状況評価					
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
					学校種別	建物用途				西暦	和暦							
61	4401	小林中学校	校舎	19-1.2	中学校	校舎	RC	2	1,710	1972	S47	48	B	D	C	C	C	34
62	4401	小林中学校	校舎	20-1.2.3	中学校	校舎	RC	2	1,791	1974	S49	46	B	D	C	C	C	34
63	4401	小林中学校	校舎	21	中学校	校舎	RC	2	434	1977	S52	43	B	D	C	C	C	34
64	4401	小林中学校	校舎	23	中学校	校舎	W	1	328	1988	S63	32	C	B	B	B	B	72
65	4401	小林中学校	校舎	28	中学校	校舎	RC	2	1,388	2010	H22	10	A	A	A	A	A	100
66	4401	小林中学校	屋内運動場	22	中学校	体育館	S	1	1,020	1981	S56	39	A	C	B	B	B	67
67	4401	小林中学校	プール		中学校	その他			400	1964	S39	56						
68	4403	細野中学校	校舎	13-1.2.3	中学校	校舎	RC	2	820	1971	S46	49	C	D	C	C	C	31
69	4403	細野中学校	校舎	14	中学校	校舎	RC	2	410	1976	S51	44	A	D	C	C	C	37
70	4403	細野中学校	校舎	15	中学校	校舎	RC	2	717	1982	S57	38	C	C	B	B	B	62
71	4403	細野中学校	校舎	16	中学校	校舎	RC	2	513	1986	S61	34	B	C	B	B	B	65
72	4403	細野中学校	屋内運動場	12	中学校	体育館	S	1	551	1965	S40	55	A	D	C	C	C	37
73	4403	細野中学校	プール		中学校	その他			325	1970	S45	50						
74	4404	西小林中学校	校舎	4-1.2	中学校	校舎	RC	2	1,092	1971	S46	49	C	C	C	C	C	40
75	4404	西小林中学校	校舎	5	中学校	校舎	W	1	331	1961	S36	59	A	D	C	C	C	37
76	4404	西小林中学校	校舎	16-1.2	中学校	校舎	RC	2	1,255	1973	S48	47	B	D	C	C	C	34
77	4404	西小林中学校	屋内運動場	17	中学校	体育館	S	1	629	1977	S52	43	A	A	A	C	C	85
78	4404	西小林中学校	プール		中学校	その他			325	1970	S45	50						
79	4405	永久津中学校	校舎	13.14	中学校	校舎	RC	2	2,300	2000	H12	20	A	B	A	A	A	93
80	4405	永久津中学校	屋内運動場	9-1.2	中学校	体育館	S	1	555	1967	S42	53	B	B	A	C	C	75
81	4405	永久津中学校	プール		中学校	その他			325	1983	S58	37						
82	4406	東方中学校	校舎	17-1-2	中学校	校舎	RC	2	2,371	1998	H10	22	B	B	B	B	B	75
83	4406	東方中学校	校舎	18	中学校	校舎	RC	2	597	1999	H11	21	A	B	B	B	B	77
84	4406	東方中学校	屋内運動場	9	中学校	体育館	S	1	463	1962	S37	58	B	B	B	C	C	66
85	4406	東方中学校	プール		中学校	その他			325	1974	S49	46						
86	4407	三松中学校	校舎	16	中学校	校舎	RC	2	619	1980	S55	40	B	C	B	B	B	65
87	4407	三松中学校	校舎	17	中学校	校舎	RC	2	339	1983	S58	37	B	C	B	B	B	65
88	4407	三松中学校	校舎	18	中学校	校舎	RC	2	532	1990	H2	30	B	C	B	B	B	65
89	4407	三松中学校	校舎	19	中学校	校舎	RC	2	320	1992	H4	28	B	B	B	B	B	75
90	4407	三松中学校	校舎	21	中学校	校舎	RC	2	2,119	2001	H13	19	A	B	A	A	A	93
91	4407	三松中学校	校舎	22	中学校	校舎	RC	2	246	2001	H13	19	A	B	A	A	A	93
92	4407	三松中学校	屋内運動場	23	中学校	体育館	RC	1	901	2010	H22	10	A	B	A	A	A	93
93	4407	三松中学校	プール		中学校	その他			325	2019	R元	1						
94	4423	須木中学校	校舎	1-1.2	中学校	校舎	RC	2	836	1963	S38	57	D	C	C	C	C	37
95	4423	須木中学校	校舎	2	中学校	校舎	RC	2	635	1962	S37	58	D	C	C	C	C	37
96	4423	須木中学校	校舎	6	中学校	校舎	RC	2	595	1966	S41	54	C	C	C	C	C	40
97	4423	須木中学校	屋内運動場	8-1.2	中学校	体育館	S	1	738	1968	S43	52	B	C	C	C	C	43
98	4423	須木中学校	プール		中学校	その他			325	1968	S43	52						
99	4419	野尻中学校	校舎	23	中学校	校舎	RC	2	2,398	1975	S50	45	B	D	C	C	C	34
100	4419	野尻中学校	校舎	26	中学校	校舎	RC	2	333	1988	S63	32	A	A	B	B	B	84
101	4419	野尻中学校	校舎	29	中学校	校舎	W	1	226	1991	H3	29	B	B	B	B	B	75
102	4419	野尻中学校	屋内運動場	31	中学校	体育館	RC	1	1,090	1993	H5	27	D	C	B	B	B	59
103	4419	野尻中学校	武道場	27	中学校	武道場	S	1	359	1990	H2	30	B	A	B	B	B	82
104	4419	野尻中学校	プール		中学校	その他			375	1995	H7	25						
105	4420	紙屋中学校	校舎	20	中学校	校舎	RC	2	477	1976	S51	44	D	C	C	C	C	37
106	4420	紙屋中学校	校舎	21.22-2	中学校	校舎	RC	2	573	1980	S55	40	C	C	B	B	B	62
107	4420	紙屋中学校	校舎	26	中学校	校舎	RC	2	342	1987	S62	33	A	C	B	B	B	67
108	4420	紙屋中学校	屋内運動場	35	中学校	体育館	RC	1	745	2008	H20	12	A	B	A	A	A	93
109	4420	紙屋中学校	プール		中学校	その他			288	1988	S63	32						

4-4 学校施設の現状と課題

- 少子化の進行に伴い、児童生徒数は今後も減少傾向が続くことが予想されます。
- 対象建物のうち、築30年以上経過している建物が約62%を占めています。
- 構造躯体や部材、設備の経年劣化による施設の老朽化が進行しています。
- 今後、従来どおりの事後保全型の施設整備を続けた場合は、年平均約9.8億円必要であり、直近の5年間の投資的経費の平均額の約3.3倍の費用がかかります。

これからの児童生徒数の減少傾向や老朽化施設の増加、財源の確保など様々な問題を解決しながら児童生徒が安全・安心に学校生活をおくることができる教育環境を確保するためには、劣化や損傷が顕在化する前の段階から予防的に対策を行う予防保全型（長寿命化型）の維持管理へ転換が必要になります。

今後は、これまでの建て替えや機能回復中心の事後保全型の維持管理から予防保全型の修繕改修に切り替えを行い、建物の長寿命化を図ります。

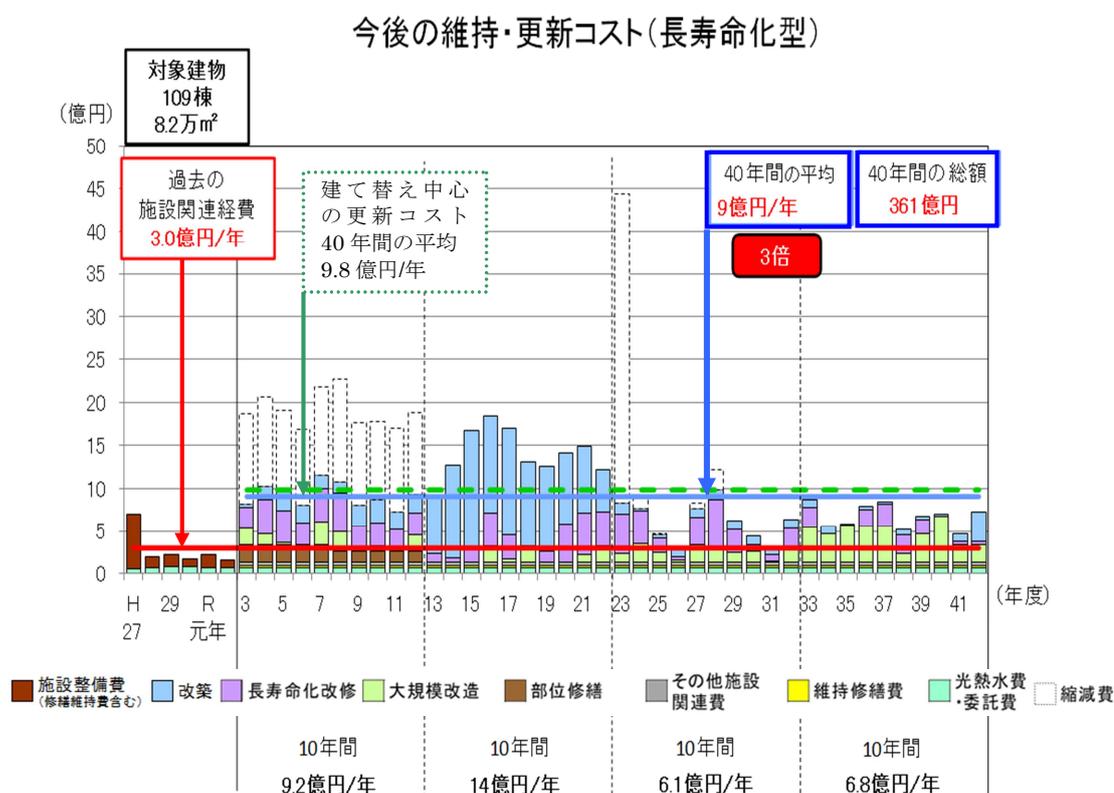
これにより、長期にわたり修繕・改修コストの縮減を図りつつ、常に児童生徒が安心して学校生活がおくることができるよう学校施設の維持を行っていきます。

4-5 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

建て替え中心から改修による長寿命化に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめて実施する必要があります。

文部科学省の定めた方法により全施設を長寿命化対象とし、令和2年度時点での建築年数が40年以上の建物は60年まで使用して改築、40年未満の建物は長寿命化で区分し、長寿命化周期を40年で試算した場合の今後40年間の維持・更新コストは総額361億円（約9.0億円/年）となり、従来の建て替え中心の場合の392億円（約9.8億円/年）より総額31億円（年約7700万円/年）、約8%の縮減となります。

図表4-4 長寿命化による維持・更新コスト



*** 試算の際に仮定した条件**

- 園舎、校舎、体育館、プールは現在の保有面積で改築
- 令和2年度時点で建築年が40年以上の建物は60年まで使用后、改築
- 令和2年度時点で建築年が40年以下の建物は建築年40年で長寿命化、建築年60年で大規模改修、建築年80年で改築
- 改築 33万円/㎡ 長寿命化 19.8万円/㎡ 大規模改修 8.25万円/㎡で試算

4-6 長寿命化計画の維持更新コストの見通しと課題

文部科学省の定めた方法により試算した今後の従来型では、維持・更新コストが40年間で約392億円、年平均9.8億円と試算されました。

一方、長寿命化周期を40年で試算した今後の長寿命化型では維持・更新コストが40年間で約361億円、年平均は約9億円となり、従来型と比較して40年間の総額では約31億円が縮減されます。

ただし、長寿命化を行ったとしても、投資的経費3億円に対して、3.0倍のコストがかかることになり、今後の維持・更新にかかる予算確保が大きな課題となってきます。

今後、児童生徒の安全を確保し、教育環境の向上を図っていくには、本計画の見直しを行っていく過程で、長寿命化や予防保全を具体的に勘案し、維持管理コストの縮減及び平準化に努めるとともに、児童生徒の推移を注視しながら学校施設の統廃合、他施設との複合化などをあわせて検討していく必要があります。

5 学校施設整備の基本的な方針等

5-1 学校施設整備の基本的な考え方

現在、小林市内には幼稚園1校、小学校12校、中学校9校の計22校が各地区に設置されていますが、昭和50年には7,884名いた児童生徒が少子化などの影響で年々減少を続け、令和2年度には3,430名で43.5%に減少しています。

また、学校施設については建築から40年以上経過している施設が約51%を占めるなど老朽化が進んでいます。

今後、さらなる児童生徒の減少や老朽化に伴う、学習環境の低下や学校施設整備費の増加などの様々な課題を解決し、学校施設の長寿命化計画を確実に実行していくには、少子化に対応した学校づくりや小・中学校施設の統合、学校施設と他施設との複合化など地域の状況に応じて検討し、その結果を本計画に反映させる必要があります。

そのため、学校施設の現状や整備の方針を本計画の中で示し、今後の学校施設の在り方について学校及び地域と課題を共有し、整備計画を具体的、効率的に進めていきます。

なお、今後も地域のコミュニティの中心になるような学校を目指し、学校施設整備を行います。

5-2 学校施設長寿命化計画の基本方針

図表 5-1 小林市公共施設等総合管理計画基本方針及び
学校施設の長寿命化計画の基本方針

小林市公共施設等総合管理計画基本方針	学校施設の長寿命化計画の基本方針
<p>1 計画的な維持管理等を実施することにより、既存施設の有効活用等を図り、原則として新たな公共施設の整備は行わないこととする。新たな公共施設の整備を検討する必要がある場合には、後年度の財政負担等を総合的に勘案する。</p>	<p>1 躯体の健全性の詳細調査を随時実施し、可能な建物は80年に長寿命化を図る。</p>
<p>2 施設を更新(建替)する場合は、統合(集約化・複合化)等を検討するものとし、機能を維持しつつ、施設総量(総床面積)の縮減を図るものとする。</p>	<p>2 地域の実情に応じたスポーツ施設等の再編とともに、施設の統廃合や複合化の検討を図る。</p>
<p>3 用途や機能が重複している施設等については、地域の特性や利用状況等を総合的に勘案しながら、集約化等により、機能を維持しつつ、施設総量(総床面積)の縮減を図るものとする。</p>	<p>3 地域の特性や利用状況を総合的に勘案し、小・中学校施設一体型の検討を図り、少子化の進行に伴う将来的な児童生徒数の減少傾向を踏まえ学校施設規模の適正化に努める。</p>
<p>4 PPP/PFIなど、民間活力の活用を検討するとともに、事後的な修繕等だけでなく、必要に応じて、適切な時期に修繕等を行う予防的な保全の実施も検討するなど、施設の適正な保全、長寿命化に努め、ライフサイクルコストの縮減及び更新費用の平準化等を図る。</p>	<p>4 長寿命化を進めるとともに、適切な時期に修繕等を行う予防的な保全の実施も検討するなど、施設の適正な保全に努め、※1ライフサイクルコストの縮減化及び更新費用の平準化を図る。</p>
<p>5 公共施設の今後40年間の更新費用は、総額約1,164億円と見込まれている。一方、過去の投資的経費の実績等から、今後の投資可能経費を見込んだ場合、将来投資見込額は40年間で約767億円となり、40年間で約397億円の不足が見込まれるため、1～4の取り組みを通じて、計画期間である10年間で更新費用総額の8%の縮減を図る。</p>	<p>5 長寿命化や施設の統廃合や複合化を行い、従来の維持更新を行うより更新費用総額の縮減を図る。</p>

※1 ライフサイクルコスト・・・企画設計段階、建設段階、運用管理段階及び、解体再利用段階にわたる建築物の生涯にわたるコスト。

5-3 長寿命化・改築周期の方針

今後の施設管理については、従来の事後保全型から予防保全型へ考え方を切り替え、学校施設の長寿命化を図っていきます。

ただし、老朽化が進んでいるため、大規模な補修を行う際に改築以上の費用が係る建物については改築を検討します。

また、改修、改築周期については、(一社)日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」を基に以下のとおり設定します。

図表5-2 建築物の耐久計画に関する考え方
(一社)日本建築学会

学校施設建物の目標耐用年数		
構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造	木造
耐用年数	60年	40年
目標耐用年数	80年	50年

図表5-3 改修、改築周期(校舎)

建築年数 (2021年3月末時点)	方針
40年～55年	概ね60年程度利用後、改築を検討します。
30年～40年	大規模改修、長寿命化改修により施設の機能向上を図り80年程度の利用を目指します。
0年～30年	建物の状況に応じて、現状維持、修繕工事、大規模改造により施設の原状回復を図ります。

図表5-4 改修、改築周期(体育館)

建築年数 (2021年3月末時点)	方針
50年～60年	長寿命化改修により施設の機能向上を図り80年程度の利用を目指します。
0年～50年	建物の状況に応じて、現状維持、修繕工事、大規模改造により施設の原状回復を図ります。

図表5-5 改修、改築周期(プール)

建築年数 (2021年3月末時点)	方針
50年～60年	必要に応じて小林市営プールの利用、他学校プールとの併用、全面改修を検討します。

5-4 学校個別基本方針

今後、児童生徒数の推移を考慮しながら、学校ごとについて以下の方針を基に整備を検討します。なお、学校施設を更新する際には、施設の複合化、集約化の検討を行います。

<p>○ 児童生徒数が今後、比較的維持される学校</p> <p>基本方針 現状の規模や機能を維持しつつ、老朽化に伴う改築や長寿命化、複合化を検討する。</p>	<p>【校舎】 学校規模や地域の状況を考慮し、小中施設一体型の校舎の改築や既存施設の長寿命化、他施設との統合を検討する。</p>
<p>○ 児童生徒数が今後、減少することが見込まれ、施設の老朽化が進んでいる学校 (地区の小中学校の劣化度状況評価の平均が50点以下)</p> <p>基本方針 施設の統廃合や複合化、長寿命化を含めた学校の在り方を早急に検討する。</p>	<p>【体育館】 小中施設一体型の体育館の改築や長寿命化の検討を行うとともに、地区体育館との併用も検討する。</p>
<p>○ 児童生徒数が今後、減少することが見込まれるが、施設の老朽化は進んでいない学校 (地区の小中学校の劣化度状況評価の平均が50点以上)</p> <p>基本方針 施設の大規模改修や改築をする際には、施設の統廃合や複合化、長寿命化を含めた学校の在り方を検討する。</p>	<p>【プール】 小中学校施設一体型のプールの改築や長寿命化の検討を行うとともに、市営プールの利用拡大や他学校のプール利用についても検討する。</p>

5-5 学校整備を行うまでのイメージ

学校を整備するための庁内会議を行う。



各地域とともに今後の学校の在り方を長寿命化・改築周期の方針、学校個別基本方針を元に検討し、既存施設を利用した長寿命化や改築（一部改築を含む）、小中施設一体型の方針性を決定をする。



各地域の意見を踏まえ、教育委員会が長寿命化や改築、小中施設一体型の方針性を決定し、施設整備を進めていく。



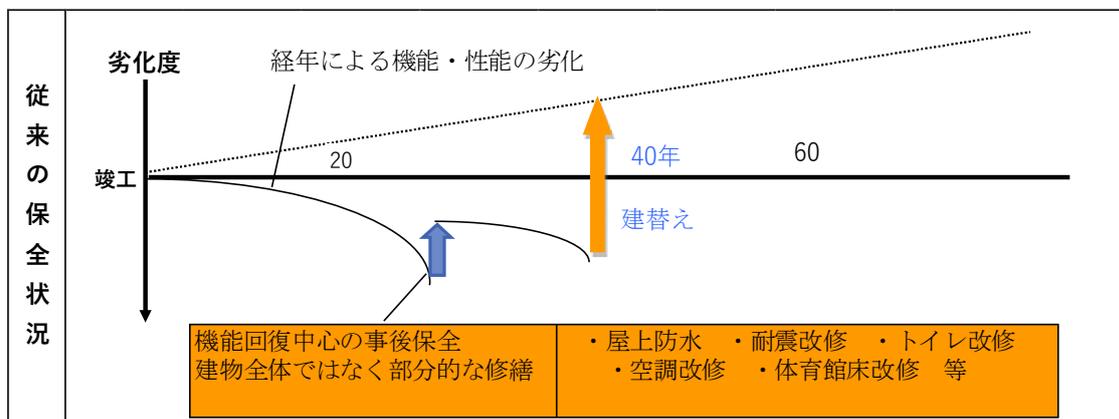
施設整備後は長寿命化計画を基に施設保全を行う。

6 改修等の基本的な方針

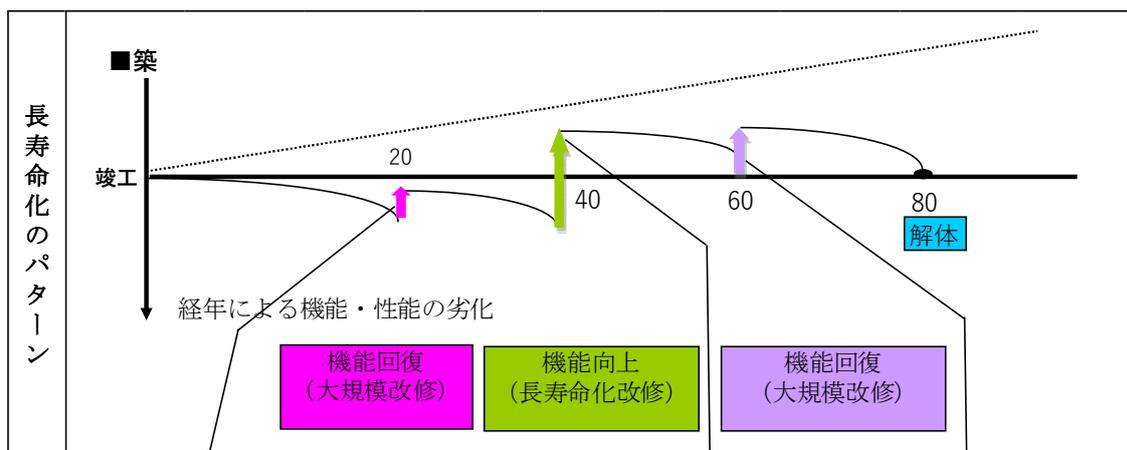
6-1 長寿命化改修の周期

今後は、建替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。以下のとおり長寿命化改修を実施した場合の修繕・改修周期を示します。

図表 6-1 従来の保全状況



図表 6-2 長寿命化のパターン



参考：工事内容

築20年目 大規模改修	築40年目 長寿命化改修	築60年目 大規模改修
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と、社会的要求に対応するための機能向上工事	経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事
<ul style="list-style-type: none"> ・屋外防水改修 ・外壁改修 ・設備機器更新 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障・不具合修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・防水改修（断熱化） ・外壁改修 ・開口部改修 ・内部改修（床・壁・天井） ・設備改修 ・プール改修 ・グラウンド改修 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外防水改修 ・外壁改修 ・設備機器更新 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障・不具合修繕

7 長寿命化計画の実施計画

7-1 改修等の優先順位付けと実施計画

長寿命化・改築周期の方針、学校個別基本方針を勘案し、今後10年間の施設整備について、下記のとおり本計画を進めていきます。

- 野尻中学校体育館屋根改修工事（長寿命化改修）
- 東方中学校体育館大規模改修工事（大規模改修）
- 三松小学校体育館改築工事（改築）
- 西小林地区学校施設整備（改築）
- 細野小学校体育館床改修工事（大規模改修）

また、西小林地区学校施設整備にあたっては、できるだけ早い時期に地域、学校と十分に課題を共有し西小林地区のコミュニティの中心になるような学校施設整備を行います。

- * 既存施設の危険箇所が発生した場合や緊急な改修工事が必要な場合は、必要に応じて対応を行います。
- * 今後、地域との協議や財源の確保などにより進捗状況に大幅な変更が生じる場合は、必要に応じて実施計画の見直しを行います。

8 長寿命化計画の継続的運用方針

8-1 施設情報の管理

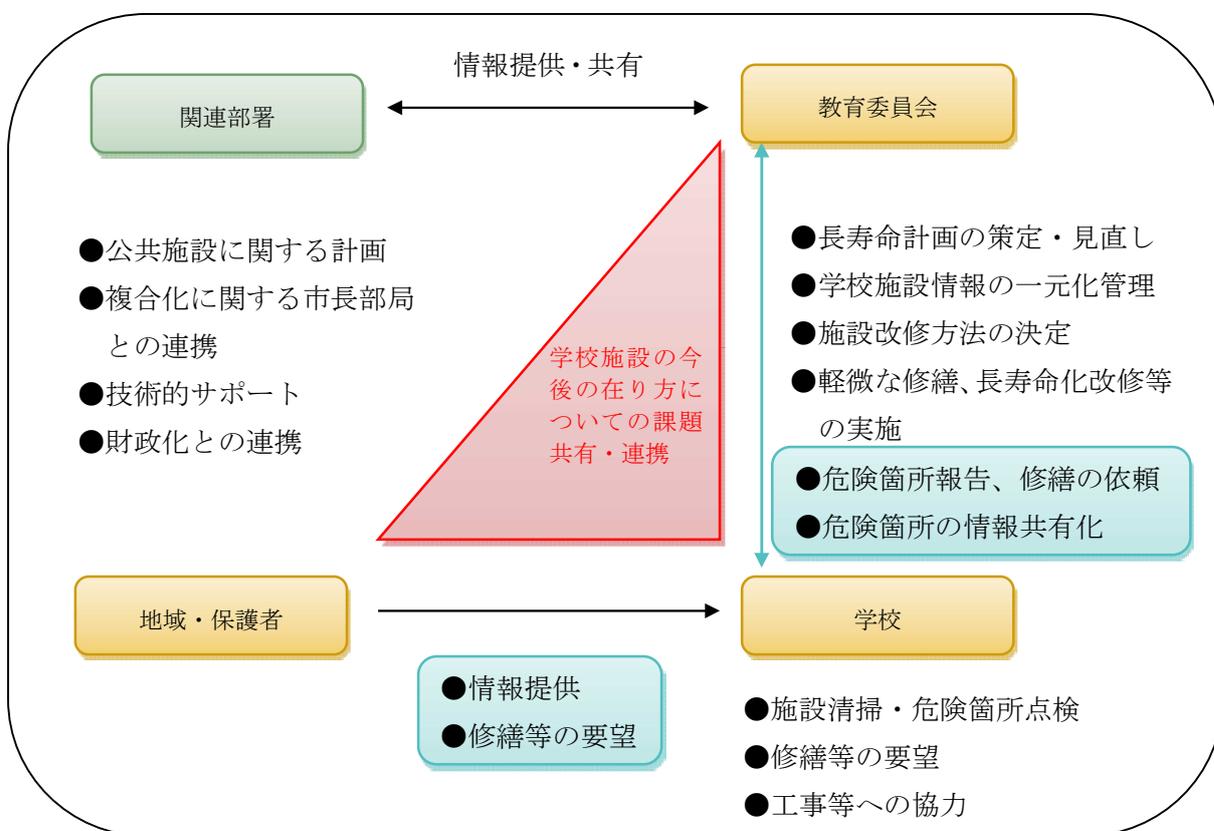
施設の基本情報、光熱水費をはじめとする運営経費、工事履歴や劣化情報を一元化して管理していきます。

8-2 推進体制の整備

本計画は、小林市公共施設等総合管理計画との整合を図り、予算の平準化などを推進することで、実効性を高めていきます。

また、学校施設の適切な維持管理においては、継続的な点検や効率的な運用が重要となるため、関係機関と連携を図りながら進めていきます。

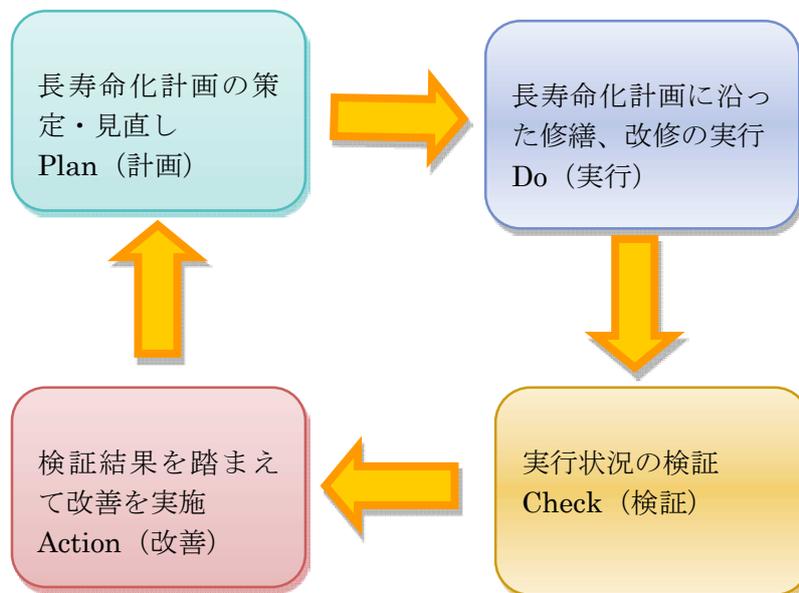
図表 8-1 推進体制イメージ



8-3 フォローアップ

今後、事業の進捗状況の結果を精査し、5年ごとに本計画の効果の検証を行います。そして、小林市公共施設等総合管理計画及び0歳から100歳までの小林教育プランの改訂時にPDCAサイクルによる見直しを適宜行い、学習指導要領の改訂に対応した教育環境整備を実現させていきます。

図表8-2 フォローアップイメージ



8-4 財源の確保

本計画の推進に当たっては、継続的な学校施設の改修等が必要となり、その支出は市財政に大きな負担となります。そのため、学校施設の整備にあたっては、国庫補助事業を最大限に活用し、財政負担の軽減を図ります。

参考資料

学校別児童生徒数推移

学校名	昭和 50年	昭和 55年	昭和 60年	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 17年	平成 22年	平成 27年	令和 2年	令和 7年
野尻幼稚園	80	120	79	71	62	51	41	28	31	13	
小計	80	120	79	71	62	51	41	28	31	13	
小林小学校	1,360	1,381	1,365	1,108	972	858	732	697	674	546	544
南小学校	584	490	511	469	454	397	320	308	269	306	300
細野小学校	409	502	599	633	576	391	334	309	347	266	235
西小林小学校	451	409	395	391	345	264	252	192	142	156	141
東方小学校	347	255	295	290	262	185	142	105	91	88	92
永久津小学校	232	160	186	145	153	112	85	81	62	66	47
三松小学校	330	396	485	535	524	489	506	476	466	447	481
幸ヶ丘小学校	59	43	51	48	60	54	38	24	9	13	9
須木小学校	263	187	177	191	156	124	100	68	76	44	26
鳥田町小学校	76	73	60	27	33	33	19	10	8		
内山小学校	41	32	24	26	33	16	5	7	3		
野尻小学校	372	341	420	362	289	238	183	217	195	134	115
栗須小学校	299	283	324	296	242	206	154	137	137	146	111
紙屋小学校	208	178	201	180	169	112	100	68	69	62	46
小計	5,031	4,730	5,093	4,701	4,268	3,479	2,970	2,699	2,548	2,274	2,147
小林中学校	1,046	951	935	888	727	654	589	522	518	437	437
細野中学校	183	205	229	320	311	277	161	144	158	134	144
西小林中学校	286	253	217	220	224	195	154	146	107	80	78
東方中学校	217	173	124	141	154	131	86	68	44	34	34
永久津中学校	129	116	76	108	68	77	60	42	38	50	54
三松中学校	181	164	222	246	287	279	230	224	216	209	223
須木中学校	186	148	110	114	101	88	75	56	40	26	28
内山中学校	32	14	11	9	16	6	5	1	3		
野尻中学校	378	334	322	376	332	250	223	157	165	148	144
紙屋中学校	135	103	96	106	95	77	44	40	37	25	35
小計	2,773	2,461	2,342	2,528	2,315	2,034	1,627	1,400	1,326	1,143	1,177
合 計	7,884	7,311	7,514	7,300	6,645	5,564	4,638	4,127	3,905	3,430	3,324

資料：小林市小中一貫教育基本計画 令和2年度は学校基本調査より 令和7年度は見込み

改訂履歴

- ・令和3年3月 策定
- ・令和5年3月 一部改訂